

看護学専攻

修士課程

〈修業年限〉2年 〈学位〉修士(看護学) 〈入学定員〉14名

保健師コース

保健師コース

〈取得可能資格〉保健師国家試験受験資格

本コースにおける所定の単位を修得し、学位論文審査および最終試験に合格すると、**修士(看護学)**の学位が与えられ、**保健師国家試験受験資格**を取得することができます。本コースに出願するには、**看護師の免許**が必要です(取得見込可)。

地域で暮らす人々の健康と生活を護るために、専門性の高い実践力をもち、分析力・研究力、政策提言に優れた保健師を育成します。

保健師教育の質の向上が求められています

疾病構造の変化や少子高齢化、地方分権の進展などの社会環境の変化に伴い、保健師に求められる社会的ニーズは多様化しています。現場からも教育の質の向上を求める声が上がっており、「保健師助産師看護師法」改正により保健師の教育年限が延長され、資格取得に必要な単位数も大幅に増加しました。天使大学では、より充実した教育を目指し大学院での教育を選択しました。保健師として自信を持って働くために大学院への進学をお勧めします。

専門性の高い実践力を身に付けた保健師を養成します

地域の健康問題は複雑化して、生活習慣病、介護予防、虐待、メンタルヘルス、感染症、自然災害、健康格差など様々な対策が求められています。保健師には、これらの課題に取り組み立ち向かっていくための高度な知識や技術が必要であり、「個人・家族、集団を支援する力」と同時に、人々が抱える健康問題の背景にある地域の課題を分析し、住民とともに解決していく「地域を支援する力」の両方の実践力が求められます。大学院は2年間で、講義、演習、実習、研究を積み上げ、理論と実践を統合させ、現場の課題を探究できる実践力・研究力のある保健師を養成します。

ディプロマ・ポリシー

- ・キリスト教の人間観を基盤に公衆衛生看護の理念に基づく倫理観をもって公衆衛生看護ができる。
- ・科学的根拠と文化的感受性をもって地域の健康課題を明確にし、関係者と共有することができる。
- ・グローバルな視点で将来を見据え、地域ケアシステムを評価し、施策化、政策化を提言できる。
- ・人々の健康増進能力を高め、複雑な健康課題を解決するために関係者と連携・協働して支援できる。
- ・公衆衛生看護実践における課題を見出し、適切な研究方法を選択し、成果をまとめることができる。
- ・保健師の責務を遂行し公衆衛生看護の向上を図るために自ら課題を見出し主体的に学ぶ姿勢がある。



カリキュラム・ポリシー

- ・キリスト教の人間観と公衆衛生看護の理念、看護職としての倫理観のもと公平な看護を自律して実践できる保健師の養成に必要な科目を主体的に学修するプログラムを提供する。
- ・人々の健康を多面的にとらえ科学的根拠をもって分析できる力を育成するために、公衆衛生大学院のグローバルスタンダードとされる分野を網羅する専門基礎科目を提供する。
- ・個人・家族、集団に対する基礎的支援能力を強化するために、援助過程を論理的に思考し、専門性の高い実践に必要な科目を設定し、実習のプログラムを提供し実践能力を獲得する。
- ・地域特性に応じた看護活動を展開できるようになるために、演習と実習を段階的に配置し、地区活動を通して解決に向けた取り組みを住民と協働して実施するプログラムを提供する。
- ・保健師としてグローバルな視点で地域の将来を見据え、人々の健康と生活を護るための社会資源の開拓やケアシステム構築、政策提言できる能力を育成するプログラムを提供する。
- ・保健師としての責務を遂行するために専門性を高め、自己の課題を見出し主体的・継続的に学び、科学的に探究する能力を育成するために、公衆衛生看護課題研究を提供する。

カリキュラム

区分		科目	
看護学・栄養管理学 両専攻共通科目		倫理学特論 人間関係論特論 研究方法論特論 統計学特論 疫学	地域ケアシステム論 健康行動科学特論 医療情報・医療経済 国際保健学特論 国際保健学特論演習
看護学専攻 共通基礎科目		看護理論特論 看護倫理特論 看護研究法I(量的研究) 看護研究法II(質的研究) 看護教育学特論I	看護教育学特論II 看護管理学特論 家族関係論特論 コンサルテーション論
専門基礎科目		薬理学特論 病態生理学 臨床薬理学 精神病理学特論 保健医療福祉政策論 保健医療福祉行政論	疫学・保健統計特論 ヘルスカウンセリング論 代謝栄養学特論 環境保健学 健康社会学 医療人類学特論
専門分野 専門科目	保健師コース	公衆衛生看護学原論 公衆衛生看護活動論I 公衆衛生看護活動論II 健康学習支援演習 家族看護学特論 公衆衛生看護診断 公衆衛生看護管理 健康危機管理特論	産業・学校看護活動論 地域ケアシステム論特論 公衆衛生看護課題研究演習 家族看護継続実習 公衆衛生看護展開実習 公衆衛生看護管理実習I 公衆衛生看護管理実習II
	他コースの科目	ホスピス緩和ケア看護学特論II	公衆衛生看護学特論I
		公衆衛生看護課題研究	

〈修了要件〉58単位(30単位(修士課程修了に必要な単位)+28単位(保健師国家試験受験資格取得に必要な単位))



修了生

看護学専攻
保健師コース2018年3月修了
(天使大学看護栄養学部看護学科 卒業)

所属
中頓別町 保健福祉課 保健グループ
(保健師)

充実した保健活動につながる2年間

大学院修了後、個の生活も町全体の様子も見やすい環境で働きたいと思い、道北の小さな町に就職しました。大学院での学びの中では、保健師として必要な能力のうち、自分の得意・不得意が明らかになるので、就職してからは苦手な部分にはより力を入れて学習したり、得意な部分は伸ばしていけるように働くことができています。また、保健師として自分は何をしたいかが明確になるので、将来への目標を持ちながら今何が必要かを意識して働くことができ、やりがいも楽しさも感じながら保健活動をすすめることができています。

多様に変化する今の社会で暮らす人々の健康を支援するためには、これからの保健活動には更に高い能力が求められると考え、大学院で学ぶことを選びました。学修・実習・研究など、どの場面でも自分で考えて表現し行動する力が必要になるので、私自身はかなり苦労しましたが、それらの経験は今の保健活動を根気強く、自信を持って取り組む姿勢に繋がっていると思います。

大学院での2年間は保健師としての自分を育てる本当に大切な時間だったと感じています。ここでの学びを基に、これからも地域に根差した保健活動をすすめていけるよう頑張りたいです。

本コースにおけるこれまでの論文テーマについては15ページをご覧ください。

ホスピス緩和ケア看護学コース

〈取得可能資格〉がん看護専門看護師

学士課程で展開した看護学教育を基礎としながら、ホスピス緩和ケア分野で高度実践看護師を育成します。「高度実践看護師」とは、高度な実践・相談・教育・調整・協働・コミュニケーション・倫理的判断・研究を行う能力を持ち、チーム医療の核となって包括的なケアをマネジメントし、その専門領域においてリーダーの役割を果たす看護師のことで、本コースに出願するためには、**看護師免許を有し、3年以上の看護実務経験**が必要です。

老年看護CNSコース

〈取得可能資格〉老人看護専門看護師

超高齢社会の中で、保健医療福祉の場における質の高いケアの提供をしていくためには、高度な看護を実践できる看護師の育成は不可欠です。本コースは複雑な健康問題を抱える高齢者に対して、ケアとケアを統合した高度な看護実践能力を提供する高度実践看護師を育成する教育課程です。ここでは専門看護師として必要な実践は勿論ですが、教育、相談、調整、研究、倫理について学んでいきます。本コースに出願するには、**看護師免許を有し、3年以上の看護実務経験**が必要です。

精神看護CNSコース

〈取得可能資格〉精神看護専門看護師

保健・医療・福祉現場で必要とされる看護について、精神看護の観点から、心身両面に関する知識と技術を教授します。複雑な健康問題を有する患者にケアとケアを統合し、卓越した直接ケアを提供するとともに、相談、調整、倫理調整、教育、研究を行い、ケアシステム全体を改善することで、看護実践を向上させる高度実践看護師を養成します。本コースに出願するには、**看護師免許を有し、3年以上の看護実務経験**が必要です。

人として、看護師として成長できる道



修了生

看護学専攻
ホスピス・緩和ケア看護学コース 2017年3月修了

所属
社会医療法人禎心会 札幌禎心会病院
看護部管理室
(がん看護専門看護師)

私は、がん患者さんが病気との折り合いをつけ自分らしい生活を送れるよう支援する中で、より高度な知識と技術を獲得したいと考え大学院に進学しました。大学院での2年間は、看護学と哲学の双方の視点から現象を捉え、見えるものから見えないものを見抜くことの醍醐味を実感する日々でした。そして、自分の弱さや未熟さを自覚し、自分の在り方を見つめ直す時間でもありました。この体験があったからこそ、人として看護師として成長する機会を得られたと感じています。

現在は、緩和ケアチームの看護師として勤務しています。症状緩和に関する薬剤調整や精神的苦痛への介入などの依頼に対して、速やかに対応が図れるようチーム内・多職種間の調整を行っています。その他、看護部新人・現任教育の年間プログラム立案・運営管理にも携わっています。修学中に学んだ問題の本質を見極めるための多角的な視点は、どの役割においても役立てることができています。専門看護師の役割を通して、よりよい実践を医療チームで共に見出し提供できるよう励んでいきたいと思っています。

【高度実践看護師コース】

高度実践看護師(専門看護師)教育機関

専門看護師(Certified Nurse Specialist)制度の目的と教育課程

専門看護師制度は、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識・技術を深めた専門看護師を社会に送り出すことにより、保健医療福祉の発展に貢献し併せて看護学の向上をはかることを目的としています。(日本看護協会HP参照)

専門看護師教育課程は、保健・医療・福祉現場において、複雑な健康問題を有する患者にケアとケアを統合し、卓越した直接ケアを提供するとともに、相談、調整、倫理調整、教育、研究を行い、ケアシステム全体を改善することで、看護実践を向上させる高度実践看護師を養成する教育課程です。(一般社団法人日本看護系大学協議会高度実践看護師教育課程認定規程参照)

これまでの修了生が
「専門看護師」
として活躍しています。

これまでに看護学専攻ホスピス緩和ケア看護学コース修了生15名が「がん看護専門看護師(CNS)」に認定されています。主に札幌市内のがん診療連携拠点病院で活躍しています。なお、老年看護CNSコースは2019年度、精神看護CNSコースは2020年度に開設しました。

ディプロマ・ポリシー

- ・キリスト教の人間観に基づく全人的ケアを実践できる。
- ・各専門分野における倫理的配慮意思決定支援ができる。
- ・専門的なエビデンスに基づく実践・相談・教育ができる。
- ・高度なコミュニケーション能力に基づく多職種連携・調整することができる。
- ・組織変革・政策提言に必要な変化エージェントの役割意識を有している。
- ・基本的な研究能力を有し、課題研究を今後の実践に結び付けて説明できる。

カリキュラム・ポリシー

- ・共通科目A群は、看護の実践と研究・教育の基盤となる能力の養うために、看護理論特論、看護倫理特論、看護研究、看護教育特論、看護管理特論、コンサルテーション論を配置した。
- ・共通科目B群は、専門分野の実践の根拠となる基礎的知識を修得のために、基礎科目として、病態生理学、フィジカルアセスメント、臨床薬理学を配置した。
- ・専門分野の専門科目は、専門分野の基礎科目、専門科目における高度な知識・技術・態度を修得し、実践において統合するために専門領域の臨地実習を行う。
- ・課題研究は、専門領域特有の課題を研究し、学位論文としてまとめる科目である。

カリキュラム

区分		科目	
看護学・栄養管理学 両専攻共通科目		倫理学特論 人間関係論特論 研究方法論特論 統計学特論 疫学	地域ケアシステム論 健康行動科学特論 医療情報・医療経済 国際保健学特論 国際保健学特論演習
看護学専攻 共通基礎科目		看護理論特論 看護倫理特論 看護研究法I(量的研究) 看護研究法II(質的研究) 看護教育学特論I	看護教育学特論II 看護管理学特論 家族関係論特論 コンサルテーション論
専門基礎科目		薬理学特論 フィジカルアセスメント 病態生理学 臨床薬理学 精神病理学特論 保健医療福祉政策論	ヘルスカウンセリング論 代謝栄養学特論 環境保健学 健康社会学 医療人類学特論
専門分野 専門科目	ホスピス緩和ケア 看護学コース	ホスピス緩和ケア看護学特論I ホスピス緩和ケア看護学特論II ホスピス緩和ケア看護学特論III ホスピス緩和ケア看護学特論IV ホスピス緩和ケア看護学特論V ホスピス緩和ケア看護学演習I	ホスピス緩和ケア看護学演習II ホスピス緩和ケア看護学演習III ホスピス緩和ケア看護学実習I ホスピス緩和ケア看護学実習II ホスピス緩和ケア看護学実習III
		ホスピス緩和ケア看護課題研究	
専門分野 専門科目	老年看護CNSコース	老年看護学特論I(理論・概念) 老年看護学特論II(健康生活評価) 老年看護学特論III 老年看護学特論IV 老年看護学特論V	老年看護学展開論I 老年看護学展開論II 老年看護学実習I 老年看護学実習II
		老年看護課題研究	
専門分野 専門科目	精神看護CNSコース	精神看護学特論I 精神看護学特論II 精神看護学特論III 精神看護学特論IV 精神看護学演習I 精神看護学演習II	リエゾン精神看護学特論 高度実践精神看護実習I 高度実践精神看護実習II 高度実践精神看護実習III 高度実践精神看護実習IV 高度実践精神看護実習V
		精神看護課題研究	

〈修了要件〉必修科目38単位

本コースにおけるこれまでの論文テーマについては15ページをご覧ください。

| 修士論文コース |

ディプロマ・ポリシー

- ・キリスト教的人間観を基盤に看護の理念に基づく倫理観をもって、実践・管理・教育・研究ができる。
- ・専門分野の高度な知識・技術を修得し、理論、分析・評価力を持ち専門性の高い看護実践ができる。
- ・グローバルな視点を持ち、国内外の研究成果を取り入れ、看護実践・研究・教育に貢献できる。
- ・ケアの質向上のためにシステムを評価し、解決に向けて多職種と連携・協働し、環境を調整できる。
- ・専門分野の課題を洞察し、適切な方法を選択し成果をまとめる基礎的研究能力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー

- ・専門性の異なる院生の共通の学修の場をとおして、研究や実践の基礎となる理論や学問を学び、総合的な視野をもった実践の基礎的能力を修得するために、両専攻共通科目を配置した。
- ・高度専門職としての看護の実践と研究、教育を推進できる基礎的能力を養うために、看護理論、看護倫理、看護研究、看護教育、看護管理などの専門共通科目を配置した。
- ・高度専門職としての専門基礎となる知識・技術を修得するために、広範囲な学問領域にわたり必要な科目を専門基礎科目として配置した。
- ・専門領域における高度な看護実践や研究に必要な能力を養うことを目的に各専門領域に特論、演習科目を配置し、看護実践やエビデンスを追求し、学修を深める。
- ・高度専門職として看護の責務を遂行するために、自己の課題を見出し、主体的・継続的に学び、科学的に探究する研究の基礎的能力を修得するために、特別研究を行う。

公衆衛生看護学コース

地域社会が大きく変化するのに伴って、新たな健康課題に対応できる人材、住民のニーズに基づき、かつ地域特性を生かした健康政策を推進できる行政能力を備えた人材を育成します。本コースは、公衆衛生看護における学識を深め、科学的思考力と研究能力を養い、豊かな人間性に裏付けられた高度な看護専門職業人として保健師をキャリアアップします。本コースに出願するには**看護師**及び**保健師の免許**が必要です(取得見込みも可)。

精神看護学コース

こころの健康問題を持った人が困難な時期を乗り越え、その人らしさを取り戻して生活していくために、どのような支援ができるかを考えます。こころの健康問題は、家庭、学校、職場、そしてあらゆる生活の場で生じます。身体の問題に伴ってこころの問題が生じることもあります。私たちは、看護の立場からこの問題にどのように取り組むことができるでしょうか?自分が取り組む問題の焦点を明らかにし、適切な方法を選んで研究のプロセスをたどり、修士論文を完成します。取り組む問題は、実践、教育、研究いずれでも可能です。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込みも可)。

成人看護学コース

社会の変化や医療技術の進歩を背景に、急性期、危機的状況、慢性期、終末期など様々な健康問題を持つ人々が増えています。そのような人々には専門的な看護が必要とされており、そのニーズに応えるべく、各々の健康問題を持つ成人期にある人々とその家族を対象とするのが成人看護学領域です。個々の健康問題に有効な看護実践を行うための諸理論・概念と看護介入モデルを学びます。臨床での疑問を大切に、ゼミやフィールドワークを通して、理論やモデルなどの看護実践での適用を実践的に学び、個々の関心に応じた研究テーマを探究します。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込みも可)。

老年看護学コース

超高齢社会の日本では、社会保障制度や医療制度の改革等高齢者に関わる喫緊の諸問題がある中、住み慣れた地域でその人らしさを保ちながら人生の終焉を迎えることも課題であります。老年看護は医療機関、施設、地域(自宅)と幅広い場所で提供されることから、研究や実践も広い視野からの探求が求められます。当領域では、様々な生活の場で暮らす高齢者への看護のあり方について、国内外の研究文献のクリティークを行い、各自でテーマを絞って探究していきます。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込みも可)。

母性看護学コース

女性と母子、その家族の健康と安全、周産期のリスクの予防、正常性を維持・促進するための看護ケアを検討します。また、ハイリスクにある周産期の女性と母子、その家族がかかえる問題を統合的に捉え、対象者の経験や意思を尊重しながら、健康で安全な暮らしにつながる個別的なケアを検討します。女性と母子、その家族をめぐる環境が多様に変化し、複雑化していく中で生じる新たな看護課題を捉え、対応していくための感性と科学的思考力、研究能力を養います。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込みも可)。

小児看護学コース

少子化が進む我が国において、核家族の増加や離婚率増加による片親家族の増加、育児不安の親等、子どもが育つ環境がこれまで以上に変化し、虐待や子どもの貧困、子どもの心の病気が増えている。小児看護領域では、子どもに視点をおき、子どもが健康に育つということ、子どもの自己決定や権利を中心に、医療機関、施設、在宅における看護を議論しながら、各自のテーマを探究していきます。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込みも可)。



修了生

看護学専攻
成人看護学コース 2016年3月修了
(天使大学看護栄養学部看護学科 卒業)

所属
天使大学看護栄養学部
看護学科

とても濃厚で貴重な2年間を過ごしました

看護師4年目になった頃、職場で看護学生の指導を行うことになりました。緊張しながらも徐々に患者さんが何を求めているのか考えられるようになり、積極的に学んでいる学生の成長を見て、看護師として経験を積んだ先に教員を目指してみたいという気持ちを持っていました。それから数年経過し、母校の天使大学に成人看護学コースが開設するということを知り、思い切って臨床を離れて進学しました。

大学院では、自分の看護実践を理論に沿って深く振り返り、言語化するというトレーニングを積みことができました。また、外科勤務の時に会った乳がん患者さんへの看護の経験から「腫瘍が自壊した状態で進行乳がんと診断された患者の体験」という研究を修士論文として行いました。修士で行った研究をもっと発展させ、患者さんに還元していきたいと思っています。

大学院で過ごした2年間は、とても濃厚で、貴重で、充実し、自分のステップアップに繋がった時間だったと思っています。

カリキュラム

区分		科目	
看護学・栄養管理学 両専攻共通科目		倫理学特論 人間関係論特論 研究方法論特論 統計学特論 疫学	地域ケアシステム論 健康行動科学特論 医療情報・医療経済 国際保健学特論 国際保健学特論演習
看護学専攻 共通基礎科目		看護理論特論 看護倫理特論 看護研究法I(量的研究) 看護研究法II(質的研究) 看護教育学特論I	看護教育学特論II 看護管理学特論 家族関係論特論 コンサルテーション論
専門基礎科目		薬理学特論 病態生理学 臨床薬理学 精神病理学特論 保健医療福祉政策論 保健医療福祉行政論	疫学・保健統計特論 ヘルスカウンセリング論 代謝栄養学特論 環境保健学 健康社会学 医療人類学特論
専門分野 専門科目	公衆衛生看護学コース	公衆衛生看護学特論I 公衆衛生看護学特論II	公衆衛生看護学演習I 公衆衛生看護学演習II
	精神看護学コース	精神看護学特論I 精神看護学特論II	精神看護学演習I 精神看護学演習II
	成人看護学コース	成人看護学特論I 成人看護学特論II	成人看護学演習I 成人看護学演習II
	老年看護学コース	老年看護学特論I 老年看護学特論II	老年看護学演習I 老年看護学演習II
	母性看護学コース	母性看護学特論I 母性看護学特論II	母性看護学演習I 母性看護学演習II
	小児看護学コース	小児看護学特論I 小児看護学特論II	小児看護学演習I 小児看護学演習II
		特別看護研究	

〈修了要件〉30単位以上

本コースにおけるこれまでの論文テーマについては15ページをご覧ください。